

- 2月21日、デリーにおいて開催されたインド主催AIインパクト・サミットの成果物として参加国・地域によるニューデリー宣言が発出。G7、韓、中、露、伯含む91の国・地域、国際機関が賛同（2月25日時点）

概要

- ◆ 参加国・機関は、AIが人類全体に恩恵をもたらすことを目標とし、「人間(People)」「地球(Planet)」「発展(Progress)」を3本柱として、以下の7つの柱に関する国際協力とマルチステークホルダーの関与を推進。
 - ① AIリソースの手頃な価格とアクセスを通じたAI資源の民主化
 - ② 地域を越えたユースケース（実装例）の普及・拡大を通じた経済成長と社会的利益の促進
 - ③ 社会的・経済的利益を最大化するための基盤としての安全で信頼できるAIの推進
 - ④ AI研究インフラへのアクセス拡大と国際科学協力を通じた科学におけるAI活用
 - ⑤ 社会経済活動への参加を全層で拡大するための社会的エンパワーメントのためのAI導入
 - ⑥ AI人材開発の拡大・教育の向上
 - ⑦ 強靱かつエネルギー効率の高いAIシステムの開発
- ◆ AIインパクト・サミットが、国際協力とマルチステークホルダー・アプローチの強化に寄与するとともに、人類の繁栄ある未来を確保するためのAI促進につながる任意・非拘束的なガイドライン・原則の推進に貢献することを認識。
- ◆ AIの恩恵を実現すべく7つの柱を具体的な行動に移すための継続的な協力を期待。